

事業名：こんにちは赤ちゃん事業

子ども家庭課 児童母子係

| | | | | | | | | | |
|------|----------------------|------|---|--------------|-----|------|------|-----|--|
| 政策 | 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実 | | | | | | | | |
| 施策 | 03 子育て環境の充実 | | | | | | | | |
| 基本事業 | 01 地域子育て支援の充実 | | | | | | | | |
| 開始年度 | 平成20年度 | 終了年度 | — | 実施計画 事業認定 | 非対象 | 会計区分 | 一般会計 | 補助金 | |

| | |
|--|--|
| 事務事業の目的と成果 | |
| 対象（誰、何に対して事業を行うのか） | |
| 4か月未満の乳児をもつ保護者 | |
| 手段（事務事業の内容、やり方） | |
| 主任児童委員を中心に全戸訪問を行う。 市内企業等より、子育て支援の協賛品等の提供を受け、訪問時に配布する。 | |
| 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか） | |
| 生後4か月を経過しない乳児のいる全家庭に対して、子育てに関する情報が提供されるとともに必要な支援が受けられるようにする。 | |

| | | | | | | |
|------------------|-----------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 指標・事業費の推移 | | | | | | |
| | 区分 | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度当初 |
| 対象指標1 | 4か月未満の乳児をもつ保護者数 | 人 | 761 | 744 | 748 | 744 |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 家庭訪問件数 | 件 | 746 | 728 | 739 | 744 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 家庭訪問達成率 | % | 98 | 98 | 99 | 100 |
| 成果指標2 | | | | | | |
| 事業費(A) | | 千円 | 1,527 | 1,431 | 1,500 | 1,546 |
| 正職員人件費(B) | | 千円 | 803 | 802 | 781 | 782 |
| 総事業費(A+B) | | 千円 | 2,330 | 2,233 | 2,281 | 2,328 |

| | | |
|------|------------------------|----------------------|
| | 事業内容（主なもの） | 費用内訳（主なもの） |
| 25年度 | 主任児童委員を中心に新生児宅を全戸訪問する。 | 訪問事業実施に係る委託料 1,327千円 |

| | |
|--|--|
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 事業開始背景 | |
| 家庭訪問等により乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会を提供するために、これまで保健センターの新生児訪問を実施してきたが、子育て環境のより一層の充実を図るために本事業を開始することとした。 | |
| 事業を取り巻く環境変化 | |
| 出生後、育児に対する不安を持っている親が増えている。 | |

| | |
|--|--|
| 平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点） | |
| (1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？ | |
| 妥当である 妥当性が低い | 理由根拠 出産後間もない養育者が、育児ストレス、産後うつ病、育児ノイローゼ等の問題によって、子育てに対する不安や孤立感を抱えることがあることから、これらを取り除くことで、虐待防止等、児童の心身の健全な発達につながるため。 |
| (2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？ | |
| 貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業 | 理由根拠 子育てに対する不安や孤立感を出産後間もない養育者から取り除くことで、子育て環境の充実に貢献するため。 |
| (3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？ | |
| 上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない | 理由根拠 訪問により、子育てに関する情報を提供し、必要な支援を調整することができた。 |
| (4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？ | |
| 成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし | 理由根拠 訪問により、子育てに対する不安や孤立感を取り除くことで、虐待防止等、児童の心身の健全な発達につながる。 |
| (5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？ | |
| ある なし | 理由根拠 人件費・事務費を考慮すると委託料の削減は困難であるが、次世代育成の交付金対象とすることで財源の確保が可能。 |